

開催結果概要

会議名	令和5年度 守山市スポーツ推進計画策定協議会
開催日時	令和6年3月21日(木) 午後7時から8時30分まで
開催場所	守山市役所3階 31・32会議室
出席者氏名	【委員】 大友智会長、向坂正佳副会長、依田充代委員（リモート）、森貴尉委員、西澤功雄委員、杉江尋幸委員、福井康裕委員、下宇宿勲委員、西村秀樹委員、西村金治委員、藤本和子委員、村田和哉委員 【市事務局】 総合政策部 山本毅部長、森野慎介次長 スポーツ振興課 野洲好範課長、灘野純司係長、羽田野祐樹担当係長、布施明朗指導主事、田村公平主査
欠席委員氏名	大平雅子委員、中川郁男委員
傍聴人数	0人
会議次第	1 開会 2 会長および副会長の選任 3 会長挨拶 4 議事 (1) 第3期守山市スポーツ推進計画の進捗状況について ①第3期守山市スポーツ推進計画の概要（計画期間：令和4～8年度） ②わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ 2025 守山市開催競技 ③取組の進捗状況 (2) 令和6年度の新しい取組について 5 閉会



発言者	主な意見・内容
委員	色々な新しいイベントを開催され、スタッフ、ボランティアとして参加させていただいた。大変なことも多かったが、やはり楽しいことも多かったので、今後、国スポ・障スポをしていく中で、たくさんのボランティア、市民の協力を得ていく必要があるので、ボランティアをやっていること、楽しいことを市民の皆さんに伝えていきたいと思います。
委員	前回の会議で計画の進捗について途中の評価をすべきという意見があり、資料にまとめていただいているが、各世代のスポーツ実施率がどの程度かわかるといいと思います。 また、計画の各柱に対応した取り組みを別紙４の資料にまとめていただいているが、それぞれ柱ごとに参加者数を入れ、評価基準を決めて、どの柱の取り組みがどの程度達成できているのか進捗状況を可視化していただくとわかりやすいと思います。 そうすることで、市民の皆さんにも伝わりやすいと思います。
事務局	事務局でも中間の実施率についてアンケートなどで状況把握する必要があると考えております。 また、各取り組みへの参加者数などを柱ごとに落とし込んで、どの取り組みができていて、できていないのかを可視化し、今後の取り組みを考える材料としたいと思います。
委員	すごくたくさんの取り組みをしていただいているので、PDCAを行った上で、検討していただけるといいと思います。
委員	来年度新たな取り組みが２つあり楽しそうだと思いますが、既に人が参加するようなイベントを１６件されており、人的資源も限られているので、どの取り組みに集中するべきか検討し、スクラップビルドしていくことも必要だと思います。
委員	スポーツ協会としても、来年度は国スポのリハーサル大会ということで、各団体が各種目に張り付いていくので、各行事に対してこれまで通りボランティアを出してほしいと頼まれても厳しくなっていくと思います。 どの事業に何人ぐらいのマnpワ-が必要か考え、行政と各団体で連絡体制を整えて補完しながら取り組んでいく必要があると思います。
委員	新たな予約システムについてですが、既存の会館などの予約システムが使いに

	くいので、利用者目線に立った使いやすいものにしていただきたいです。 次にスポーツを支える活動の推進についてですが、ボランティアの確保、人材の育成をしていかないと、いつも見る顔ぶれが同じだと広がっていかないので、特に大学生など若い方と一緒にできるように取り組んでいただきたいと思います。また、指導者やボランティアを募るのに認定制度を検討してはどうかと思います。認定をすることできっかけづくりになるのではないかと思います。また、既存のボランティア向けには定期的な講習を行ってはどうかと思います。 次に地域スポーツの推進についてですが、来てくださいと待っていても人が集まらないので、出前講座の充実をしていただきたいと思います。 また、広報についてですが、地域のまちづくりの組織でスポーツ健康部会があります。各地域の代表が出て組織されているので、そこで周知して地域に持ち帰ってPRしていただくことで裾野まで浸透するような方法を検討していただきたいです。
委員	検索システムのお話がありましたが、ちゃんと情報にたどり着くということが大事ですので、しっかりと検討していただければと思います。 支える取り組みについてですが、守山市では小学校に行ってボッチャなど指導に行かれています、そういった世代からも支える活動に少しでも出ていただいて広げていっていただきたいと思います。
委員	予約システムについてですが、申込時に一般と高齢者の団体の選択肢がありますが、ユニスポ守山で施設をお借りする時に障がい者団体ということで減免していただいています、障がい者団体という選択肢がないので、どこにチェックすればいいのか迷うので、選択肢を設けていただきたい。 私は、目が見えないので音声案内を頼りに申し込みするが一部読み込まないところがあるので、できれば改修のタイミングで当事者の声も聴いていただきたいです。
事務局	予約システムの拡充とキャッシュレス決済の導入の予算を取っておりますので、障がい者団体のカスタマイズと音声案内の不具合について考えさせていただきます。
委員	施設の予約について電話での問い合わせは多いのですか。
委員	施設管理者の立場としてお答えしますが、予約システムの導入によって電話での問い合わせはかなり減っています。また、お喜びの声もいただいております。キャッシュレス決済も独自に導入しておりますが、昨年の4月から導入して既に1,600件ほどご利用いただいております。

委員	お聞きした感じだと、一般の方はスムーズにお使いいただけているようですが、高齢者などはよくわからない方などもおられると思うので、問い合わせが減って少し余裕があるようでしたら、そういった方の事前予約を受け付けて時間を決めて問い合わせに対応していただけるとよいと思います。
委員	システムの管理は守山市でしていただいておりますので、問い合わせなど利用者の声をお聞きして提案をさせていただいております。
委員	学校において障がい者スポーツの指導をしていただいております。学校現場でも、国スポ・障スポ大会があるということがあまり浸透していないので、子どもたちにも浸透するように伝えていかないと考えています。タブレットもありますので、こういったものを活用していきたいと考えています。
委員	市役所が解体されて広いスペースがありますが、少し遊べるようなスペースがあるといいと思うのですが、どうなるのでしょうか。
事務局	予定では、全て駐車場にする計画です。 待機児童が日本一になってしまい、4月1日から乳児園ができますので、そのために使わせていただく予定をしております。
委員	教育長からもありましたように、スポーツ少年団としてもやはり子ども達の国スポ・障スポの認知度が低いように感じています。何か周知できる媒体がありましたら、アピールに協力させていただきます。
事務局	学校のことについては、先日先生に集まっていただき意見交換させていただいたところです。そこで話しておりますと、子ども達もそうですが、先生方もあまり国スポ・障スポ大会についてご存じないことが現状でしたので、4月以降に職員会議などで説明させていただきたいと考えております。 また、子ども達に対しては啓発品を配るのもいいですが、できるだけ大会に関わっていただくことが重要であると考えております。例えば子ども達に何か作っていただいて、それが競技会場に飾られていることによって、子ども達が参加したといった形になるよう取り組んでいきたいと考えております。
委員	ユニスポ関係の情報を上げる場合はどの窓口に行けばいいですか。
事務局	スポーツ振興課にご相談いただけましたら、ご相談、ご協力させていただきます。

	す。
委員	それでは、学校へのチラシの回覧などを依頼すればしていただけますか。
事務局	現状でも各団体の回覧については、各団体をお願いしておりますので、当課に申請していただいた上、各団体でお願いいたします。 学校側とも相談して情報のデータ化やスリム化を検討していきます。
委員	スポーツに関心が高い親御さんの子どもは体力が高いというデータがあります。無尽蔵に資料を流されると、親御さんも子どもさんも何を見ていいかわからなくなるので、交通整理をしてスポーツ通信という形でまとめて流すことができればわかりやすいし、先生の負担も減ると思います。
委員	この1年間、私も守山市の様々なスポーツの関連事業に関わらせていただきました。 まず、3つの小学校で夢授業をさせていただき、サッカーやプロアスリート、夢の叶え方についてお話をさせていただきました。そのような中で感じたのは、守山の子ども達はとても活気があり、スポーツが好きだということを実感しております。 守山市で本当に色々な取り組みをされており、ピエリ体育祭やリレーマラソンに参加したのですが、守山市では多くの人がスポーツに取り組まれているなと思いました。ただ、先ほども話にありましたように、ボランティアスタッフがいないということが課題で、これまでのボランティアの方々も大切ですが、高校生や大学生などの若い世代を取り込んでいくことが、今後の守山市のスポーツ界の鍵だと考えています。 私は若い世代との関わりが多くあるのですが、何かしたいという学生さんはたくさんおられます。しかしながら、何をすればいいのかわからないということと、受け皿となることを守山市さんから発信されていないので、その部分が大事だと思っています。 ホームページの更新によってさらに情報発信されていくと思いますが、現在もSNSのインスタグラムでフォローキャンペーンなど情報発信を頑張っておりますが、市民の参画にまでは繋がっていないのが現状だと思います。 森委員からもありましたように、リハーサル大会から体制を整えていかなければいけませんので、行政とここにおられる各委員、各組織が連携、協力して、次の世代を担う実働部隊を作っていかなければいけないと思います。
委員	国スポ大会も近いですし、色々な取り組みや施設整備も進んでいて、これから発展していくんじゃないかという期待をしています。私はライフマネジメント

委員	学科で研究をしており、調査によると滋賀県の方は健康寿命が長いということがわかってきましたので、また現地にお伺いして色々見させていただきたいと思っています。 私はもりやまエコパークを管理しておりますが、昨年も申し上げたと思いますが、所管課が違うということで、当施設の事業が出てこないということで申し訳ないと思いますが、今年度の来場者数が15万人を見込んでおり、プールの会員も500人おられ、スポーツに深く関わっていると思っています。 また、毎年トップアスリートの事業を行っており、他にもプールにアスレチックジムを浮かべて、スポーツと遊びをからめるような事業も行っています。 今後、情報提供を密に連携して、広報・啓発物についてもごみ減量推進課を通じて提供させていただきたいと思っています。
委員	健康寿命についてですが、滋賀県は2位や3位といったところです。 私たちは、各自治会やサロンに行き座ったままできる運動などの指導をしています。また、各小学校、中学校に行きお話もしていますので、スポーツに関するものもあれば紹介させていただきます。
委員	所管が違って情報が出て来ないという話がありましたが、私も自転車連盟をやっており、大人から子どもまでが参加する今年で11回目となる自転車のクリテリウム大会をやっています。他にも自転車がからむトライアスロン大会もありますが、そこも所管が違います。 他にも佐川さんが色々な取り組みをされており、色々な事業が存在しているので、それをここに入ればさらに厚みが増すと思います。
委員	ホームページのイベントカレンダーに関連団体のイベントも掲載するとありますが、どこまでの範囲の想定をされておられますか。
事務局	現在の想定では、スポーツ協会、スポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ、指定管理者とさせていただくつもりをしています。また、情報が多くなってきた場合は絞っていくことも検討しないといけないと考えています。
委員	情報にたどり着くということが大切ですので、FAQ機能やわかりやすいホームページにしていいただければと思います。
委員	新庁舎ではポスターやチラシが貼れないので、代わりにデジタルサイネージで表示していますが、それにイベントカレンダーも入れていただいたり、市民体育館やエコパークなど他の施設に置いていただくことで、情報発信になると思

事務局	います。 デジタルサイネージは数秒でページが変わり、見たい情報がいつ来るかわからないという状況ですので、どうすればいいのか見直しについて議論している状況です。他の施設に設置するという議論にまでは至っていませんが、それも含めて考えていきたいと思います。
-----	---